

しごと「布」だより

担当：藤本か 井上み 武田

中学部「しごと」は、3班に分かれて、「紙」「ねん土・布」「農園」の作業に取り組んでいます。そういったいろいろな活動や作業を経験する中で、しごとに向き合う構えを学び、好きなことや得意なことを見つけられるようにしています。

3班のひとつ、「ねん土・布」班をさらに2つに分けて、学期の前半と後半の交代で、「ねん土」と「布」に取り組んでいます。

そのうち布班では、『はたおり』と『ウエス作り』に取り組んでおり、その作業の内容をご紹介します。

はたおり



① 縦糸の間に「ひ」を通す

ひっかからないように手元をよく見て通すのがコツです。



② ロープをひっぱる

左右のロープのうち、短くなっている方をひっぱり、縦糸を交差させます。



③ 「おさ」で織り目を整える

「おさ」を手前にトントンと約2回引き、横糸を詰めて整えます。



「ひ」を選ぶ

好きな色の糸が巻いてある「ひ」を選びます。



できあがった布を加工して、製品にし、卒業時に記念品として渡します。

ウエス

使い古しの布（シーツ、はぎれ）などを再利用して、清掃用の使い捨ての布を作る作業をしています。布の大きさは15cm四方の正方形で、10枚1組で袋詰めして仕上げます。

① 型紙を置き線を引く



課題に応じて大きい布（6～9枚取り）と、長方形の4枚取りの布を使います。

布の上に型紙を置き、型紙に沿って油性ペンで線を引きます。この時、「布の端に合わせて型紙を置くこと」や「最初に引いた線に沿わせて型紙を置くこと」などがポイントで、工夫して無駄なく生地をとることを目標にしています。ハサミを扱う時は、手元をよく見て、ていねいに切ります。

② 線に合わせて、ハサミで切る



③ 袋詰め（その1）

布を5枚数えて、ジッパー付きの袋に入れます。



袋詰め（その2） 5枚入りの袋から布を取り出し、10枚1組にして形を整えてビニール袋に入れ、テープではります。



④仕上げ（ラベル作りとラベル貼り）



長細い布をハサミや小型のペーパーカッターで切り、ラベルを作っています。大きな布をハサミで切ることが難しい場合でも、ラベルでは、ザクッと1度の操作で切り落とすことができます。

ペーパーカッターは、刃の部分が大変安全にできている上、簡単な操作で布を切ることができます。



『中学部 しごと「布」』と書かれた紙を、ラベル用の布に両面テープで貼りつけます。

ラベルを、本体に両面テープで貼り付けて完成です。

学習場面では、「自分で考えたり工夫したりすること」

「材料がなくなった時や、困った時、できあがった時などに伝えられること」

「あいさつ」「かたづけ」を大切にしています。

しごと『布』班では、以上のような内容で授業に取り組んでいます。